



第 78 巻 第 1 号
 年 4 回 発 行
 社会福祉法人 慈生会
 〒165-0022
 東京都中野区江古田 3-15-2
 TEL 03-3387-5567
<http://www.jiseikai.jp>
 振替口座 ベタニアの家
 00170-6-15317

地域共生社会と新しい心

シスター・松本 圭世

「主イエス様のご降誕と新年のお祝詞を申し上げます」

昨年中皆様からいただきましたご支援、ご指導に心から御礼申し上げます。

社会福祉法人に対する国の施策が日本の現状と課題の中で改革が始まってから二年が過ぎようとしております。地域と共に連携して歩む「我が事・丸ごと地域共生社会」の言葉が生まれました。他人事を「我が事」に変える働き方との関係、課題を「丸ごと」受け取る場との関係から「我が事・丸ごと」の言葉が生まれました。一人取り残さない「誰一人取り残さない」それを実行する社会であり「共生とは断らないこと」であるという原点を示しています。社会福祉法人に求められる役割は、

地域住民と共に施設や専門人材等の資源を活用して課題を受け止め、場を提供して共生社会の実現に向かって歩むこととあります。(現在、市、区から依頼される目的に沿ってすでに複数の施設で低所得世帯の児童の学習支援など、場の提供をしている)。

慈生会は乳児から高齢者の方々まで、多種の施設で日々ご利用される方々のため働いておりますが、新たなたちで生活困窮者が社会に広がっており、就労支援、居住支援、医療的ケアを要する子供や、身近な圏域で対応したい課題にも留意し、積極的に参画することが期待されております。今の日本の現状は困窮者の多くが孤立しており「生活困窮者」の多くが相談に来られない人たちが「こちらから出て行って会う」「つながる」ことが重要な時代になっています。「経済的貧困」と「社会的

孤立」の連鎖など課題は多いのです。

慈生会の創立当時を振り返ってみます時、必要に迫られて手を差し伸べた創立者の行動は、今の時代にも共通する問題に積極的に動き出すよう求められていることを痛切に感じます。「互いに愛し合いなさい」との聖書のみ言葉が「原点」であることを思い起こし、「新しい心」で取り組めるよう願わずにいられません。創立者が次のように書いております。

「新しい心とは肉の心だ、ご存じの事で、西洋では心を「知」とみているし、東洋では「情」と見ていてどうしても考え方が合わないとか一致しないとかの原因はそこにある。けれども人間は「知」と「情」とを合わせて動かなければよい仕事はできないという事に決っているのです。愛します」肉の心は命を生かすもので愛によって動くものであると主イエス様もおっしゃっております。

創立者の言葉を心に刻み、本年も皆様からのご指導ご助言をいただきながら一つ一つ丁寧に関わっていくことができますよう願い歩んでまいります。

(慈生会理事長)

謹んで主のご降誕と新年のご挨拶を申し上げます、皆様の上に豊かな恵みをお祈り致します。

社会福祉法人 慈生会

理事長 Sr・松本圭世

役職員一同

徳田保育園

中野トータルサポートセンター

ベタニアホーム・慈しみの家

ベタニア・デイ・ホーム(月)(星)

中野北ベタニア訪問看護ステーション

慈生会中野ケアプランセンター

ベタニアヘルパーステーション

中野区江古田地域包括支援センター

ナザレットの家

ベトレヘム学園

聖家族ホーム

聖ヨゼフ老人ホーム

慈生会清瀬ケアプランセンター

ベトレヘムの園病院

マ・メゾン光星

指定相談支援事業所ノエル

放課後等デイサービス エスポワール

学校法人 東星学園

(幼・小・中・高等学校)

理事長 Sr・田代嘉子

教職員一同

ベタニア修道女会

総長 Sr・田代嘉子

姉妹一同

『HAPPY
JAZZ TIME
VOL.2』

実行委員長 斎藤 透

十二月十一日練馬文化センターで行われました『ベタニアの家チャリティコンサート』には、年末の忙しい時期にもかかわらず、多数の皆様が御来場いただきました。チャリティの目的は七月の「西日本豪雨災害救援募金」と「放課後等デイサービス エスポワールの支援」でした。

障害児通所支援事業の放課後等デイサービス「エスポワール」は、本年四月一日に開設しました。共働きの家庭が増えると共に、学校終了後に障害を持つお子様の帰宅を、家族が迎える事が難しい現状が増えています。そんな中、「那須町に事業所を作ってほしい」という多くの声に応える形で、「エスポワール」を開設しました。名称の「エスポワール」はフランス語で希望を意味します。「希望」という言葉の中には子供たちの成長と未来への輝、そんな願いが込められています。

今年のコササートは昨年大好評を得た「鈴木直樹&スウィングエース」の皆様を引き続きお願いしました。アメリカで約一〇〇年前に生まれたジャズ。アフリカのリズムと西洋の音が融合して発展し世界へ広が

りました。そして今、私たちの耳と目の前に広がるパフォーマンズや馴染のある名曲の数々に、自然に心と体が踊り出し会場全体がジャズの世界に包まれました。

コンサートの開催に当たりましては、多くの方々のご協力とご支援を頂戴致しました。ご支援いただいた寄付金とチケット売上金の総額は、一六七万一千五百三円になりました。今回ご支援頂いた支援金は西日本豪雨被災地にはカリタスジャパンを通しての寄付、エスポワールでは、子供たちが安全に楽しく外で遊ぶことが出来る「遊具」の購入に充てたいと考えております。最後になりましたが全ての皆様に豊かな恵みがあることを願い感謝申し上げます、ご支援有難うございました。

(エスポワール 管理者)



ベタニア宣教センター落成

シスター・國定 光恵

昨年十一月十三日、慈生会ナザレットの家乳児院跡地において、徳田教会主任司祭大倉一美神父様の司式により「ベタニア宣教センター」の落成式を迎えることが出来ました。多くの方々のご尽力によって実現した、この大きな恵みを神様に感謝するとともに、この場をお借りして皆様にご報告申し上げます。

ベタニア修道女会は一昨年、創立八十周年を迎えました。ナザレットの移転が決まったことを機に、創立者が残されたこの場所をどのように生かせばよいかを話し合い、この記念すべき節目にふさわしい事業として、創立者の精神が生かされた、人々の集いの場を作ろうということに決まりました。

折しも、フランススコ教皇様の使徒的勧告「福音の喜び」が出されたばかりでしたので、教皇様の新しい福音宣教への熱い呼びかけにも応えるべく、神の摂理に信頼して歩み始めた次第です。



ベタニア修道女会はこれまで主に事業体を通して福音宣教を果たして参りましたが、時代の変化とともに、これからの新しい宣教活動のあり方、いやしの場としてのベタニアらしい活動を模索するため、二〇一四年四月より、協力者に支えられながら、「ベタニアミッションセンター」として活動して参りました。



私たちの会憲には次のように記されています。「ベタニア修道女会の使徒的活動の目的は、創立者の精神を受け継いで、ベタニアの家を建て続けることである(瑠璃草一九四三・四参照)。それは「キリストを迎え入れた家」(ヨハネ二・一五・四〇)を迎える家である。」

私たちがベタニアの使命を生きるために、この新しい家が地域に開かれた憩いの場、慈生会・東星学園・教会・修道会をつなげる交わりの場、また、フロッジャク神父様の精神を一致の絆として、最も小さい人々の居場所となりますよう、心から願っています。この家が神の愛を伝える新しい福音宣教の拠点として成長することが出来ますよう、今後とも皆様のご指導、ご協力を切にお願い申し上げます。

(ベタニア修道女会・宣教センター)

中野地区ふれあいバザー

実行委員長 西本 裕子



十月二十一日秋晴れの中、例年通り中野地区で「ふれあいバザー」が開催されました。このバザーも近隣の方たちに周知されたせいか、開始前から門の前に行列ができ、開催の挨拶とともにたくさんの方たちが焼き鳥や今川焼などの食べ物を楽しんでいただき、フリーマーケットや手作り作品の前もお客さんが途切れることのない状況が続きました。今年に入り口の門近くと徳田教会への通り道にハート型の風船や風車を飾り、来ていただいた子供たちに差し上げることで、徳田保育園から覗いてくれた方たちや小さなお子様を連れた方に大変好評でした。また、マ・メゾン光星の太鼓演奏が2回行われ、賑やかさに華を添えてくれました。毎年行われるとはいえ今年も、地域の多く

の方やボランティアの方たちと、職員が自らも楽しんでふれあえたバザーであったことをご報告いたします。

(江古田地域包括支援センター)

清瀬地区ふれあいバザー

実行委員長 野原 理津夫



穏やかな秋晴れの十一月三日、清瀬ふれあいバザーが行われました。今年にはベトレヘム学園の新建物への引っ越し、ナザレットの家乳児院の中野からの移転があり、各施設とフリーマーケットも含めると全部で五〇以上の

の出店があり、昨年よりも賑やかな一日でした。

毎年同じ出店では面白くない(?)ので、今回は聖家族ホーム、聖ヨゼフホーム合同でたこ焼、いか焼、お好み焼、今川焼、ソフトクリームを出してみました。かなり無謀な計画でしたが、諸施設の方々の多大なるサポートと東星学園をはじめとする

多数のボランティア、アさんの協力で、何とかなりました。感謝です。写真は開始前の様子です。来年も何か一つ新しい事をしてみたいですね。



光星祭を終えて

実行委員長 大滝 浩一

去る十月十四日、マ・メゾン光星にて、光星祭及び収穫感謝の祭儀が開催されました。今年のテーマは「みんなとわくわく!」と題しまして、お祭りに参加する「皆が共にわくわくしながら楽しめるように」との思いを込め、企画をいたしました。今回のステージ発表には、外部団体によるフォークダンスやアフリカダンスの出し物がありました。音楽に合わせて、出演者、利用者、来場者の皆様と一緒に踊るなど、会場が一つになって盛り上がる場面が見られました。

また、アートギャラリーでは、大きな砂絵を作るという企画に参加された利用者と来場者の方々が、共同して一つの作品を作り上げる過程で、普段見られない交流が見られました。今年度、放課後等デイサービス、エスポワールを開所しました。ブースを設けて活動紹介や作品展示を行ない、特色ある光星祭になったと思います。当日は天候が心配された中、地元夕狩地区や卒園生、元職員、地域の施設の方々など、多くの皆様にご来場頂きました。改めて、この場をお借りしまして、開催にあたりご協力頂きました皆様に感謝いたします。ありがとうございました。

(マ・メゾン光星)



ベタニアの家

一月行事予定

1日 ☆神の母聖マリア
☆世界平和の日
《元日》

14日 ☆主の公現
13日 ☆主の洗礼
6日 ☆成人の日
《成人の日》

ベトレヘム学園
成人のお祝い会

26日 慈生会 理事会
23日 B.M.C. (ベタニア・ミッション・センター) 主催

「黙想と祈り」テゼ
植松功氏とともに

27日 ☆世界こども助け合いの日

二月行事予定

11日 ☆福者 高山右近
3日 ☆ルドルフの聖母
《世界病者の日》

24日 ☆建國記念の日
18日 ☆聖ベルナデッタ祝日
B.M.C. 主催

「いのち」お話 豊島神父様

三月行事予定

9日 ☆灰の水曜日
6日 B.M.C. 主催
3日 「イエスとともに」

四旬節の祈り
15日 ☆四旬節第一主日
16日 東星学園 小学校卒業式
15日 東星学園 幼稚園卒業式

ベタニアホーム 卒園式
聖家族・聖ヨゼフ老人ホーム 慰霊祭

28日 慈生会 評議員会
21日 慈生会 理事会
12日 《春分の日》
19日 ☆聖ヨセフ

金 祝

昨年十月十六日、会の保護の聖人聖女マルガリタ・マリア・アラコクの祝日に大倉神父様の司式により聖ベルナデッタ修道院聖堂で金祝のミサが行なわれ、姉妹が集い楽しいひと時を過ごしました。これからも、私たちは神様、フロジャク神父様から託された「慈しみの愛」を伝えていくために、新しい仲間を送ってくださいと祈っております。引き続き皆様のお祈りをお願いいたします。感謝のうちに！

金祝者

シスターヤシント 水口 孝子
シスターミキ 徳原 ヒデ
シスターニコラ 吉川かをる
シスターロマナ 田代 嘉子
シスターオルガ 小野寺シズ子
シスターマルセルラ 高橋百合子
(ベタニア修道女会)



編集後記



あけましておめでとうございます。皆様が新しい年を健やかに迎えられることをお喜び申し上げます。さて、一年が過ぎるの年々早くなるばかりで、年を取ると(愚痴)・・・。ベタニアホームには百歳を超えるご利用者が十名おられます。時々、その方たちは「時の流れ」をどのよう

計 報

シスターデヴォタ 土屋 由子



生 歴

一九二五年三月五日 生
一九五七年十二月十一日 立誓願
二〇一八年十一月九日 帰天

シスタージャンヌ・ダーク 和田 静枝



生 歴

一九四〇年四月二十五日 生
一九七〇年二月十一日 立誓願
二〇一八年十月二日 帰天

に感じているのかと考えます。日頃の生活を見させていただくと、たぶん「ゆっくり」と感じられているのではと思うことが多いです。今年が皆様にとって平和で時がゆっくりと流れるような穏やかな年になることをお祈りし、そして、新しい年号になる歴史的な年をワクワクしながら迎えられたらと思います。

(中村 英男)

毎年お正月は和服で過ごす、これは何十年も変わらない自分のスタイルです。ベタニアホームで働かせていただいたときは、入所している皆さんに目で楽しんでいただくことも含め、必ず三日間は和服で過ごしました。最近教会で聖歌隊の指揮者もさせていただいているので、元旦のミサも和服でしています。こんな変わらない自分がある中で、変わらなければならない自分も感じます。新しい年を迎え、自分の中に、そして皆さんの中に神様が新しい風を送ってください、ステキな一年となりますように。(原田 直人)

一昨年、ベタニア修道女会は設立認可八十周年を祝いました。紙面にもありました、ベタニアの使命を生きたために、地域に開かれた憩いの場、慈生会・東星学園・教会・修道会をつなげる交わりの場、フロジャク神父様の精神を一致の絆として、最も小さい人々の居場所にと「ベタニア宣教センター」が建ちました。皆様の協力のうちに、時代の求めにあったベタニアの『み心の愛』の場となりますように。(Sr菊池 啓子)